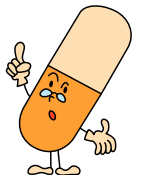


高齢者の方へ、安全に、正しくお薬を飲むために



加齢に伴い、薬を飲むという行為は難しくなります。うまく飲み込めずに気管内へ入ってしまったら、薬を飲み忘れたりすることがあります。このような問題への対策をご紹介します。



1 服薬補助食品を利用する

オブラートやトロミをつけるゼリーを使うことで、飲み込みやすくなります。また、薬の苦味や舌への刺激を軽くすることもできます。これらはドラッグストアで購入が可能です。

2 錠剤が飲みにくい場合は、粉薬などに変更してもらう

錠剤やカプセル剤が飲みにくい場合は、粉薬や水薬に変えるという方法もあります。

※薬によっては変更できないこともあります。医師または薬剤師にご相談ください。



3 飲む薬の種類や数が多いとき

飲む薬の種類や数が多くなると、飲み間違えたり、飲み忘れたりすることがあります。そのような時は、用法ごとに薬を分けて入れられる**ピルケース**や、**小分け袋**を使う方法があります。また、ご自分で薬を用法ごとに分けるのが難しい場合は、薬を1回分ずつ分けて調剤してもらうこともできます。

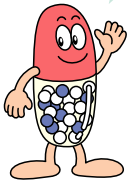
↓ピルケース



↓小分け袋



ピルケースや小分け袋を使うと、管理しやすいでしょう。



オブラートの使い方

オブラートを水に浸すことで、ゼリー状になります！



ゼリー状になったら、スプーンですくいます。



薬をオブラートの中心に置き、包んでねじり水に浸します。

オブラートは角型や袋型などさまざまな形のものがあります。ご自分の使いやすいオブラートを探してみましょう。

